

2026 年 元旦礼拝



2026.1.1

シオン・キリスト教団 蒲田教会

【1月のご案内】

■4日（日）聖日礼拝
礼拝で聖餐を行います
説教 荻野牧師

■11日（日）聖日礼拝
礼拝後 二十歳の祝い
午後 各会例会

■12日（月祝）新年聖会（教団主催）
講師 寺村真弓師
インマヌエル綜合伝道団
板橋キリスト教会

会場 蒲田シオン教会
時間 聖会Ⅰ 午前10時半より
聖会Ⅱ 午後1時半より
※オンライン配信があります

・新年聖会は、新年最初のシオン連合集会です。オールシオンメンバーが一堂に会します。みことばの恵みと主にある兄弟姉妹の交わりに共にあずかりましょう。
・昼食の用意はありません。弁当持参、外食など、各自で済ませてください。
3階がフリースペースです

【デイポーション・聖書通読】

新年も、デイポーションや聖書通読で主の御声に耳を傾けましょう。

私たちの主は、生きておられます。聖書を通して私たちに語りかけてくださいます。

多くのクリスチャンが、問題や課題を抱えるとき、また、道に迷い行く先に悩むとき、日々の聖書通読やデイポーションで、神様の導きの声に触れて励まされるという経験をします。目には見えなくても、主は生きておられて、私たちを見守り、共に人生を歩み、心配してくださっているからです。主の存在は、聖書の語りかけを通して知ることができます。この一年が兄弟姉妹一人ひとりとって、そのような経験の積み重ねとなり、主をより近くに感じる事ができるように願います。

一人で聖書を読むのは容易ではありません。通読表やデイポーションガイドなどの道具を上手に使い、信仰の友・教会の仲間と分かち合い励まし合いながら進みましょう。

※「デイポーション」とは

日常の中で、個人的に聖書を読み、祈り、黙想をするなどして、主との個人的な交わりをすること。

デイポーションガイドのご紹介

■紙媒体

「アパルム」
「みことばの光」
「日々のみことば」 など
※毎月発行または隔月発行など

■スマホアプリ

「デイリーブレッド」
「You Version」 など
※毎日、メッセージが更新されます。
過去のものも読むことができます。

■書籍

「潤った園のように」
（現代語版「荒野の泉」
カウマン夫人）
「エマオの道で」（アニス・キンロー）
「朝夕に祈る主の祈り」（大島重徳）
などなど

※古典的名著から新たに出版されたものまで、たくさん書籍が発行されています。

デイポーションガイドは、その人その人によって、使いやすさや分かりやすさなどが異なります。自分で手に取って、使いやすいものを選ぶと良いでしょう。

2026年1月1日 元旦礼拝

11時より 奏楽 高橋美姉

前奏	招詞	会衆賛美	会衆賛美	主の祈り	交読	礼拝祈禱	使徒信條	聖書朗読	説教	頌栄	献金	会衆賛美	報告	感謝祈禱
	ハバクク書2章20節	聖歌25	聖歌352	詩篇27篇1〜14節	ヨハネの福音書	ヨハネの福音書	ヨハネの福音書	ヨハネの福音書	わたしはぶどうの木	わたしはぶどうの木	主はぶどうの木	聖歌376	父御子御霊の	奏楽
	着席	起立	起立	起立	着席	着席	着席	着席	着席	起立	起立	着席	着席	着席

【招詞(主の招きのことば)】

ハバクク書2章20節
「主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ。」アーメン

【本日の礼拝奉仕者】

司会	奏楽	礼拝祈禱	聖書朗読	献金1階	献金祈禱	報告	受付	会場	配信
荻野牧師						司会者	荻野牧師	林伝道師	



新年あけまして

おめでとうございます

本年もよろしく

お願い申し上げます

主任牧師 荻野泰弘
伝道師 林 眞光

【お知らせ】

・シオン・キリスト教団
標語入りカレンダー
ご自由にお持ちください。
こちらも沼津シオンの南兄による
デザインです。感謝します。

・蒲田シオン聖書通読表
ご自由にお持ちください。
今年も聖書に親しみましょう。

2026年シオン・キリスト教団 標語

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。

ヨハネの福音書 15章5節

新年あけましておめでとうございます。新しい年も救い主の豊かな恵みと平安が、シオンの枝教会と地域、兄弟とご家族や友人たちのうえにありますように。そして、主の祝福が国全体、アジアと世界へと広がることをお祈りします。

私たちはみな、様々なつながりのなかで生きています。その中でも全てのつながりの根本は、創造主である神とのつながりです。しかし人は、罪を犯すことで神との関係を自分から断ち切ってしまう。罪とは、自分の思い通りに（まさに神の如くに）人や物事を動かしたいという欲求です。それを自己実現と勘違いすることに、人の悲劇があります。なぜなら、本当の自己実現とは、自分はもとより、周囲の人々も社会も、そして創造主も喜び、満足する生き方にあるからです。それはまた、喜びと感動を日々に新たに体験する生き方ですが、その根本は救い主イエス・キリストとつながり続けることです。キリストにつながるとは、次の三つの特徴があります。

キリストの愛にとどまる…冒頭のことばの次には、「人がわたしにとどまり」とあります。さらに、九、十節には「わたしの愛にとどまり」と主は語ら

れています。キリストの愛とは十字架と復活であり、いま御聖霊として求める者の内に宿ることです。我がうちにおられるキリストを忘れないため、礼拝と教会生活を大切にし、日毎に祈りと聖書通読を通して主に霊の眼を向けましょう。

多くの実を結ぶ…ヨハネ十五章では「実を結ぶ（び）」と繰り返されています（二、四、五、八、十六節）。キリストが聖霊として信じる人のうちに宿るとき、その人の言葉や行動はもちろん、働きやその存在を通して主のわがが具体的にあらわれます。主が私を通して生きて働いていることを体験する生き方、それが証しの生活です。

キリストに明け渡す…「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない」とも五節にあります。豊かな実を結ぶための鍵は、私はいつ何時でも主を離れることができない、という謙虚さです。いと高き方の力である聖霊は、自らを低くする者のうちに大きく働きます。

シオン・キリスト教団 理事長 荻野倍弘